

5月8日
(水)

2度目の優勝を期待します!

—軟式野球全国大会出場者激励会—

5月18日から静岡県草薙総合運動場で開催される、第42回全国選抜軟式野球大会に出場する軟式野球チーム「モンスターハウス」の選手の激励会が行われました。チームは、2017年に開催された同大会で優勝経験があり、市長らから激励の言葉が贈られると、「2度目の優勝を目指して頑張りたい」と健闘を誓いました。



▲激励会に出席した熊沢浩之さん、松山稜さん、佐藤真哉さん(左から)

5月8日
(水)

すこやかママに感謝を込めて

—書籍とメッセージの贈呈—

出産・子育ての大変な時期を迎えたお母さんに、感謝と労いの気持ちを込めて、市長より子育てのバイブルとも言える「子どもが育つ魔法の言葉」とお祝いメッセージが贈られました。当日は、八幡町、美並町、明宝、和良町より3～4ヵ月健診のため、八幡保健福祉センターに訪れた17組の親子が集まる中、市長から一人ひとりに手渡されました。



▲書籍の贈呈の様子

5月13日
(月)

固定資産評価審査委員会

—3名の委員に選任書を交付—

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、それぞれ再任となった青木正男さん(八幡町)、可見時廣さん(美並町)、舞箴ひとみさん(高鷲町)の3名に市長から選任書が交付されました。

固定資産評価審査委員会とは、固定資産税の評価額に不服がある納税者からの審査申出について、中立・公平の立場から、対象の固定資産について市の評価額が適正であるかを審査する第三者機関です。



▲固定資産評価委員の青木さん(右)、可見さん(中央)、舞箴さん(左)

5月9日
(木)

人権を守る心を育てよう

—令和元年度人権推進校指定書交付式—

岐阜地方法務局及び県人権擁護委員連合会から人権推進校に指定された小川小学校で、指定書の交付式が行われました。また、前年度人権推進校であった八幡中学校で育てられた「人権ひまわりの種」が小川小学校児童のみなさんへ引き継がれました。



▲人権擁護委員からひまわりの種を受け取る児童

5月23日
(木)

自分自身の将来を意識する

—郡上未来塾in郡上高等学校(雇用対策協議会)—

「郡上の未来はあなたが創る」と題して、郡上未来塾が郡上高等学校で開催されました。企業で生産されている製品や、仕事で使う機械などを実際に見たり、地域の産業や仕事に対する姿勢などの話を聞き、理解を深めました。生徒からは「挨拶や上下関係が大事だとわかった。これから始まる就職活動の心構えにしたい」と感想を述べられました。



▲機械操作の説明を熱心に聞く生徒たち

5月13日
(月)

JICA青年海外協力隊員

—長井さんが市長に活動報告—

平成29年7月から平成31年3月までの間、JICA青年海外協力隊としてフィリピン共和国イロイロ州において、障がい児・者の支援活動をされた長井奈月さん(八幡町)が、市長に活動報告をされました。

現地では、これまでの経験を生かした障がいのある人たちに対するリハビリ方法の指導や、収入確保のための支援活動に従事されました。



▲映像を使いながら、現地での活動報告をされた長井さん

5月19日(日)

下沢大火から70年 大火の教訓を胸に防災意識を高める

—和良方面隊春季演習—

和良町で和良方面隊春季演習が開催されました。今年、昭和24年3月に下沢地区で発生した大火から70年の節目にあたることから、その教訓を現代に生かし後世へと伝えていくため、「郡上市合併・市制施行15周年記念事業」として、旧和良庁舎前から分列行進を行うとともに、現在の和良庁舎前において一斉放水が行われました。

分列行進には、幼年消防クラブとその家族も参加され、地域をあげての演習となりました。



◀一斉放水の様子



◀分列行進の様子

5月28日
(火)

林業遺産に認定

—星宮神社・美並ふるさと館—

(一社)日本森林学会総会が開催され、美並町の星宮神社社叢林と美並ふるさと館の収蔵資料の一部が、「郡上林業の歴史と技術を伝承する資料・展示と社叢林」として、岐阜県内では初めて林業遺産に認定されました。



◀星宮神社

5月25日
(土)

オープンから1年で達成!!

—清流長良川あゆパーク 来場数20万人—

「清流長良川あゆパーク」が来場者20万人を超え、記念セレモニーが行われました。来場20万人目となったのは、子どもと一緒に初めて訪れた、名古屋市在住の鈴木裕二さんご家族4人で、岐阜県から認定書と郡上鮎を、郡上市からは「清流長良川あゆパーク」の体験無料券等が贈られました。鈴木さんご家族は「また、あゆパークに遊びにきたい」と話されました。



◀記念セレモニーの様子

5月26日(日)

郡上の木が東京オリンピック・パラリンピックへ

—郡上山づくりフォーラムを開催—

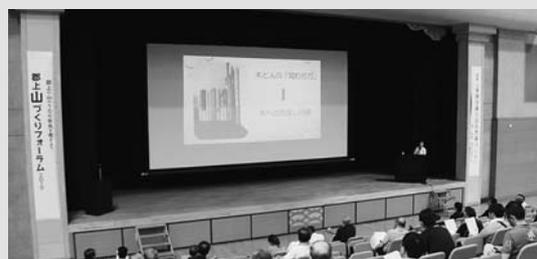
市役所大和庁舎周辺で、「郡上山づくりフォーラム」が開催されました。その中で東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザの建設に提供する郡上の木材の出発式が行われ、約200人が参加されました。郡上宝暦義民太鼓保存会による祝流し太鼓の音に合わせて、子どもたちが、製材した木材を載せた木曳車を引っぱり木材を披露しました。

選手村ビレッジプラザの建設には、県内6市町村から木材が提供されます。郡上市からはスギ材の約20m³を提供します。

出発式の後には、郡上の山の100年先を考える機会とすることを目的に、市内での山づくりの取り組みとして3つの事例発表、作家の浜田久美子氏による「多様な森と近自然森づくり」と題した講演会が行われました。



◀多数の参加者による木曳の様子



◀講演会の様子